



NO. 24 (通算24)

絵・文・題字  
渋谷 一夫

落花生は変わりもの

「落花生」という名前は面白い名前だね。花が落ちて生まれると書く。南京豆ともピーナッツともいう。豆類だが、実はどこにどう成るのかな？ 枝かな茎かな根かな。空中にぶら下がるのかな。地面に成るのかな。土の中の根っこかな。

本で調べ、できれば栽培して確認してみよう。

落花生は南京豆

落花生のことを昔は南京豆(なんきんまめ)と言った。中国の南京から渡ってきたのだらう。だが、その原産地は中国ではなく、ペルーやブラジルのある南米なのだ。ご存じの通り、落

花生は豆科植物だ。ダイズやアズキと同じ仲間だ。だが、ちよつと変わっていて、ひょうたん形の面白い形をしている。

ここで一つ質問をしよう。考えてください。「落花生の実は、どこで結実するのかな」

- ①ダイズやアズキのように、茎の上の方で結実してぶら下がる。
- ②カラスノエンドウやスズメノエンドウのように、地面をはって地表で結実する。
- ③ジャガイモやサツマイモのように、土の中で結実する。

さて、正解はどれでしょう。

正解は土の中だよ

あれあれほんとかな。正解は③の土の中。だが、サツマイモは地下根、ジャガイモは地下茎、どちらとも違うのだ。

詩人サトウ・八チローの童謡に、「落花生」と書いて(なんきんまめ)と読ませる詩がある。一部を紹介してみよう。

なんきん豆が  
みるのは  
土の中だよ  
不思議だろ  
花はやさしい  
黄色だよ  
可愛い花だよ  
見てごらん

作者はよく見ているね。感心する。確かに土の中なのです。

栽培して確認したい

まず四、五月の今、種をまくと芽が出る。やがて茎が伸び、高さ30cm位になる。夏になると、葉柄のもとに、チョウの形をした黄色の可愛らしい花が咲く。

花は受精すると、メシベの元にある子房が伸びはじめ。その子房の柄はぐんぐん伸びて下に垂れ下がり、やがて土の中に潜り込んでいく。そして、その先にあの落花生が結実するのである。

だが、実がなるところは根っこの先ではない。だから、サツマイモとは違う。また、地下茎のジャガイモとも違う。花の子房が伸

びて、その先に結実するのである。豆の中でも変わり者だね。

花が地面に落ちて土の中に入り込み、そこで実が生まれるので「落花生だ」面白い豆である。栽培して実際に観察してみよう。

